

過去問プラス 数的推理

国税専門官 2010 規則性

問題

3種類の記号□, △, ×から成る記号列を考える。次の①~④の規則に従って得られるものみを「整列した記号列」と定義するとき, A~Gの七つの記号列のうち, 「整列した記号列」であるのはいくつか。

- ① □は単独で「整列した記号列」である。
- ② 「整列した記号列」の最も右にある記号が□であるとき, その右に△を一つ付け加えたものは「整列した記号列」である。
- ③ 「整列した記号列」の最も右にある記号が△であるとき, その右に×を一つ付け加えたものは「整列した記号列」である。
- ④ 「整列した記号列」の右に「整列した記号列」を続けたものは「整列した記号列」である。

- A □□△×
- B □□□△□
- C □△×□△
- D □△□△△×
- E □△×□□△
- F □△□△×□
- G □△△××□

1. 二つ
2. 三つ
3. 四つ
4. 五つ
5. 六つ

解説

①の規則より、□はいくつ並んでもOKです。また、②、③の規則より、□の右に△、△の右に×が並ぶのもOKです。さらに④の規則より、△や×の右にまた□で始まる記号列が並ぶのもOKです。

しかし、△の右に△が並んだり、×の右に△や×が並んだりするのはNGですから、DとGについては、「整列した記号列」とはなりません。

残る5つについては、規則に従っていますので、正解は肢4です